



日本語



UNIDISK 1.1 PLAYER
オーナーズマニュアル

安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスstub、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. **機器とカートの組合せ**については十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発生するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
14. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
15. **屋外アンテナの接地**：チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
16. **雷が鳴り出した場合**：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
17. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れしないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
18. **サービスが必要になる場合**：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨に濡れたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
 - e) 製品を高いところから落としたり、キャビネットに破損が生じたとき
19. **サービス**：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。

警告

本機器はアースする必要があります。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	1998	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注 記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2003 Linn Products Ltd, First edition March 2003.

Linn Products Limited, Floors Road, Waterfoot, Glasgow, G76 0EP, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) および **Linn のロゴ** は、Linn Products Limited の登録商標です。
UNIDISK、**SILVER DISK ENGINE** および **KNEKT** は Linn Products Limited の商標です。

「DTS」および「DTS 2+Digital Out」は Digital Theater Systems, Inc の商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。「Dolby」「MLP Lossless」「double-D」のマークは、いずれも Dolby Laboratories の商標です。

すべての HDTV (高精細度テレビ) が本製品との完全な互換性を有するわけではありません。そのため、画面になんらかの像が現れる可能性があります。525 または 625 プログレッシブスキャン画像に問題がある場合は、標準 (STANDARD DEFINITION) 出力に接続を切り替えるようお願いいたします。本製品とテレビ受像機との互換性については、販売店までお問い合わせください。

本製品には著作権保護技術が組み込まれており、Macrovision Corporation その他の所有になるアメリカ合衆国特許および他の知的財産権等により保護されています。この著作権保護技術の使用には、Macrovision Corporation による承認が必要であり、同社による承認なしには、家庭その他の限られた閲覧だけが意図されています。改造や分解は禁止されています。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

本製品の供給はライセンスを伴うものではなく、営利目的の放送システム (地上・衛星・ケーブルその他の放送チャンネル)、ストリーミングアプリケーション (インターネット、イントラネット、その他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配信システム (有料オーディオやオーディオオンデマンドなどのアプリケーションその他)、物理的な媒介 (CD、デジタル多用途ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモ리카ードなど) において、本製品で作成されたコンテンツを配信する権利を与えるものでもありません。そのような用途には、そのための別のライセンスが必要です。詳しくはウェブページ <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

MPEG Layer-3 オーディオ・コーディング・テクノロジーは、Fraunhofer IIS and Thomson よりライセンス許可取得。

目次

はじめに

- ディスクの種類
- 音声出力
- クリーニング

1
1
1
1

接続

- 開梱
- 電圧の選択
- 設置
- 背面パネル
- UNIDISK 1.1 をリンシステムコントローラーに接続する

2
2
2
3
4

前面パネルとリモコン

- 前面パネル
- リモコン
- リモコンモード
 - リン5103 システムコントローラーと
 - 5101 ラーニングリモコンをお使いの方へ

5
5
6
6
6

映像出力

7

設定メニュー

- 設定メニューについて
- 一般設定
- プログレッシブスキャン設定
- 音声設定
- お好み設定

7
7
9
10
11
12

ディスクの再生

13

- はじめに
- 前面パネルのシンボル
- ディスク情報の表示
- 基本操作
 - SACDの再生

13
13
13
14
14

- ディスクのタイトル/チャプター/トラックの頭出し
- ダイレクトタイトル/チャプター選択
- 次/前のチャプター/トラック選択
- ダイレクトチャプター/トラック選択
- ダイレクトトラック選択
- チャプター/トラックの繰り返し再生

15
15
15
15
15
16

ディスクの特定ポイントを探す

- 早送り/早戻し (サーチ)
- スキャン再生/逆再生
- スロー再生/逆再生 (サーチ)
- スロースキャン再生/逆再生
- ダイレクトタイム選択

16
16
16
17
17
17

プログラム再生を使う

- ディスクの繰り返し再生
- セクションの繰り返し再生
- シャッフルプログラム
- プログラム再生

18
18
18
19

DVDメニューを使う

DVD再生のその他オプション

- 言語とオーディオストリームの選択
- 字幕
- アングル選択
- ズームとパン機能

19
20
20
20
20

ビデオCDとスーパーVCDについて

その他のファイル形式

- ファイル繰り返し再生モード
- シャッフルモード
- プログラム再生

21
21
22
22
22

ユーザーオプション

23

- ユーザーオプション設定の変更
- ユーザーオプション一覧表

23
23

技術データ

24

保証とサービス

25

はじめに

UNIDISK™ 1.1 プレイヤーは、一般家庭用の高品質エンタテインメントを追求するリン社がお届けする新しいソース製品を代表するものです。「トウルー コンバージェンス (真の集中)」をめざすこのユニークな製品は、あらゆる高品質ディスク形式を統一し、最高度のパフォーマンスを提供すべく設計製作されています。ここに生かされている弊社のSILVER DISK ENGINE IIは、大多数のマルチフォーマットプレイヤーが採る信号処理システムとは異なり、すべてのディスク形式に対して、その最大限の可能性を再生するものです。これはすなわち、音楽でも映画でも例外的な高水準で再生し、しかもほとんどどのようなシステムで使え、元のシステムの性能を向上させることを意味します。

すべてのディスク形式に対応するユニバーサルな高性能ソリューション開発こそが、ますます多様化する皆様のニーズを満たすものと私たちは信じます。音楽産業、映画産業がどのような形式を選んで提供するにしても、UNIDISK 1.1 プレイヤーは、幅広い対応性、パフォーマンス、品質で、今後長い年月にわたって、信頼性の高い主流製品であり続けることでしょう。

ディスクの種類

UNIDISK 1.1 は次のようなディスク種類に対応します。



さらに、UNIDISK 1.1 は、コピー防止機能付きオーディオディスク、MP3、MPEG2、JPEG ファイルを収録したデータディスクも再生します。

重要事項 : ディスクの規格

承認された規格のディスクすべてについて、国際的な互換性を確保するためにあらゆる努力を行っていますが、現在および将来市場に出るディスクすべてに対する本機器の完璧な作動を保証することは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在出回っている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません。本機器で再生できないディスクがあり、他社のプレイヤーで再生することができたとしても、それは本機器に欠陥があると示すものではありません。再生に問題があるディスクの詳細については、多くのウェブサイトに掲載されていますから、本機器の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討なさるようお願いいたします。本機器の性能向上に役立つこともあるため、疑わしいディスクを提出してくださることを歓迎するものではありませんが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいてエンドユーザーからディスクを受領することはできません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。ユニット破損の原因になります。

音声出力

各種ディスク・フォーマットにおける本機のオーディオ出力は下記の通りです。

Disc type	Digital	Analogue
SACD	None*	As Mix ※ 2 / Stereo downmix***
DVD-Audio	None*	As Mix ※ 2 / Stereo downmix***
DVD-Video (Dolby Surround or DTS)	As Mix**	Stereo downmix ※ 3
DVD-Video (stereo)	Stereo	Stereo
CD	Stereo	Stereo
DTS CD	As Mix**	Stereo downmix ※ 3
Video CD / SVCD	Stereo	Stereo

*非対応

** ディスクの内容をすべてのチャンネルを使って再生します。

*** マルチチャンネルフォーマットディスクは2chにミックスダウンしての再生が可能です。

(SACDとDVD-Audioのオーディオ再生はアナログ音声出力のみです。これらのフォーマットのデジタル出力はありません。)

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

接続

この項では、UNIDISK 1.1の設置方法、プリアンプやディスプレイ装置との接続方法について解説します。

注記：

本書における「ディスプレイ装置」には、プラズマスクリーン、プロジェクションテレビ、モニター、一般のテレビ受像機などが含まれます。

梱包

製品には、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコンとブックレット
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 電源コード
- 接続ケーブル (黒) 1組
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電圧の選択



UNIDISK 1.1の内部には自動電圧スイッチが組み込まれており、100V～240Vの範囲で世界すべての地域で作動します。入力電圧を手動で調整することはできません。

本機器は必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置

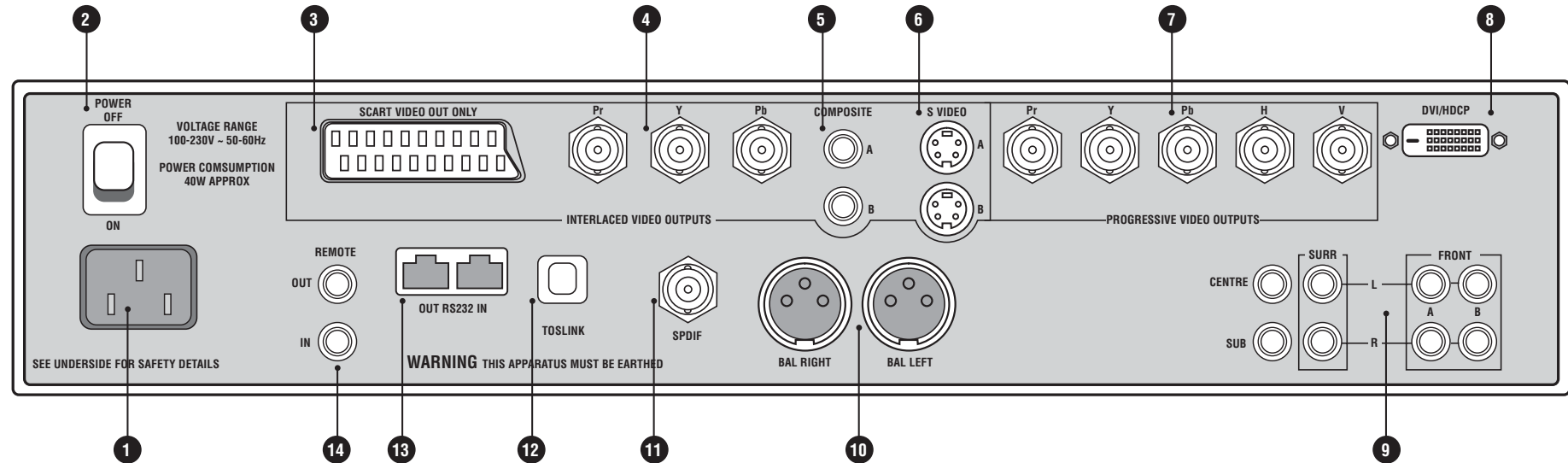
本機はたいていどんな場所にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- 換気のため、本機の両側、後部、上部には少なくとも10cm程度の空間をとってください。
- 同じ部屋にあれば、どこからでもリモコン操作が可能なのですが、本機を直射日光が当たらないところに置き、操作ウィンドウを覆い隠さないことが大切です。

重要

ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスクトレイを開けないようご注意ください。トレイのメカニズムを損なう原因になります。

背面パネル



- ❶ 電源入力
- ❷ 電源スイッチ
- ❸ **SCART VIDEO OUT** ディスプレイ装置のSCART端子に接続。コンポーネントビデオの接続専用です。S映像・音声信号は出力されません。
- ❹ **YPrPb** インターレース方式YPrPb信号に対応するディスプレイ装置への接続。
- ❺ **Composite** コンポジット信号に対応するディスプレイ装置への接続。
- ❻ **S-VIDEO** S映像信号に対応するディスプレイ装置への接続。
- ❼ **YPrPbHV*** プログレッシブ映像信号に対応するディスプレイ装置への接続。
- ❽ **DVI/HDCP** デジタル映像入力対応のディスプレイ装置への接続。
- ❾ ライン出力端子 プリアンプへのライン出力。
- ❿ **BAL RIGHT / LEFT** バランス xlr 出力。
- ⓫ **SPDIF** 同軸デジタル入力機能を備えた装置に接続。

- ⓫ **TOSLINK** オプティカルデジタル入力機能を備えた装置に接続。
- ⓬ **RS232 OUT / IN** PCやタッチスクリーン装置経由による操作。
- ⓭ **REMOTE OUT / IN** KNEKTシステム内での接続用。

* 現行の規制に従い、HおよびV sync出力は機能しません。

記：

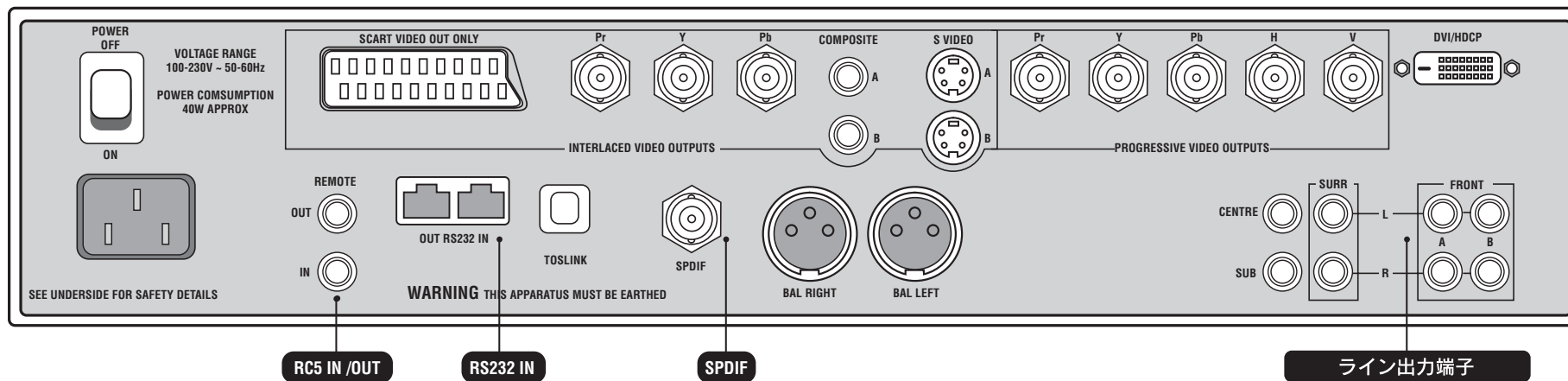
SACDとDVD-Audioのオーディオ再生はアナログ音声出力のみです。これらのフォーマットのデジタル出力はありません。



UNIDISK 1.1 の背面パネルの端子接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本体のメインスイッチを切り、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。

UNIDISK 1.1 をリンシステムコントローラーに接続する*

UNIDISK 1.1 をリンシステムコントローラーの各端子に接続する場合は、次のように行ってください。



映像接続

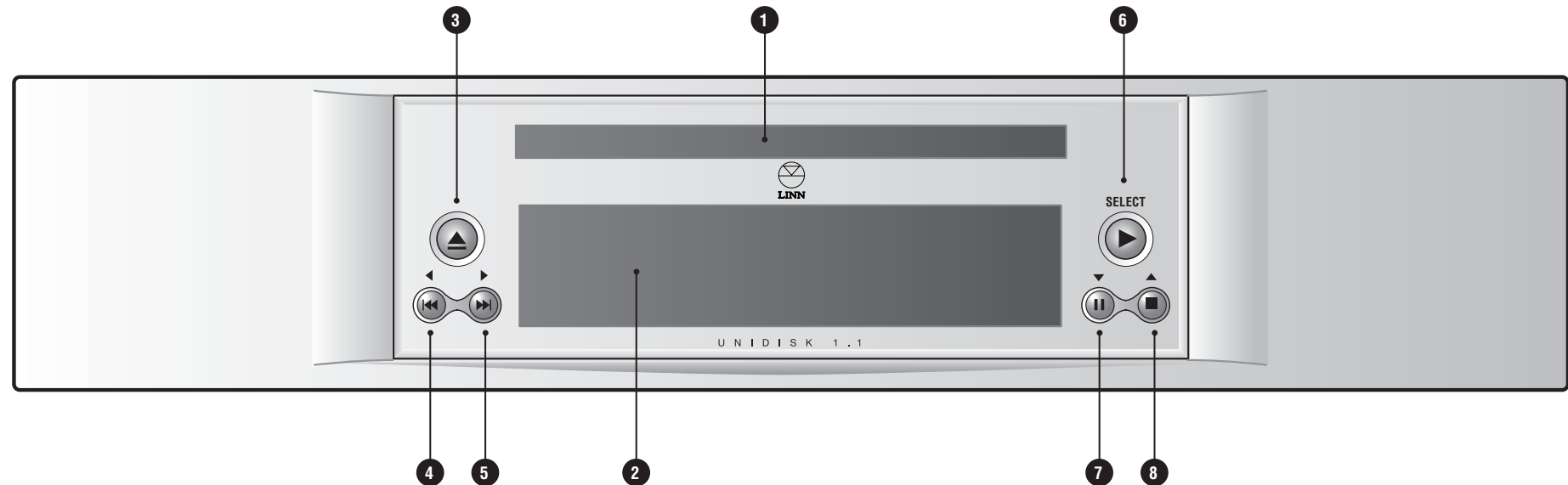
映像出力の接続は、お使いになっているディスプレイ装置の映像入力の種類によって行います。例えばディスプレイ装置のYPrPb入力端子をお使いになるときは、UNIDISK 1.1 のYPrPb出力をシステムコントローラーのYPrPb入力に接続し、その上で、システムコントローラーのYPrPb出力をディスプレイ装置の入力端子につなぎます。

正しく接続することに加え、設定メニューとユーザーオプションでも適切なセッティングが必要になります。「設定メニュー」および「ユーザーオプション」の項をご参照ください。

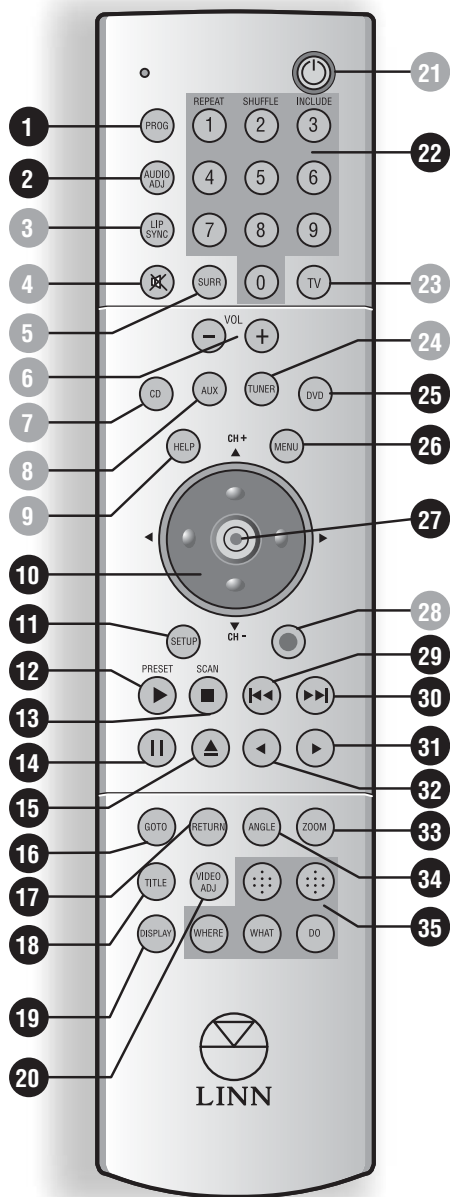
*Linn 5103を除く。

前面パネルとリモコン

前面パネル



- ① ディスクトレイ
- ② 前面パネル
- ③ ▲ ディスクトレイの開閉。
- ④ ⏮、◀ 早戻しスキップ/サーチ、メニュー内を左へ。
- ⑤ ⏭、▶ 早送りスキップ/サーチ、メニュー内を右へ。
- ⑥ ▶、SELECT 再生スタート、メニュー内で項目選択。
- ⑦ ||、▼ 一時停止、メニュー内を下へ。
- ⑧ ■、▲ 停止、メニュー内を上へ。



リモコン

- 1 **PROG (プログラム)** 繰り返し (数字キーの1)、シャッフル (数字キーの2)、プログラム再生 (数字キーの3) にアクセスします。
- 2 **AUDIO ADJ** ディスク中のオーディオストリームを順次サイクルします。
- 3 **LIP SYNC**
- 4
- 5 **SURR**
- 6 **VOL - / +**
- 7 **CD**
- 8 **AUX**
- 9 **HELP**
- 10 **CH +、CH -** オンスクリーンメニュー内を移動、設定の調整。
- 11 **SETUP** オンスクリーン設定メニューの開始と終了。
- 12 **PRESET** ディスク再生。
- 13 **SCAN** ディスク停止。
- 14 ディスク一時停止。
- 15 ディスクトレイの開閉。
- 16 **GOTO** ディスクの特定タイトル、チャプター、トラックあるいは時間へジャンプ。
- 17 **RETURN** 一定のディスク内の移動とデータディスク再生。
- 18 **TITLE** ディスクメニューや字幕へのアクセス。
- 19 **DISPLAY** ディスク再生中、前面パネルの時間表示切り替え。
- 20 **VIDEO ADJ (調整)** ビデオのフォーマットを選択 : PAL/NTSC/Native (自動)。
- 21
- 22 **数字キー 0-9 / REPEAT、SHUFFLE、INCLUDE** 数字キー/プログラム機能各種。
- 23 **TV**
- 24 **TUNER**

- 25 **DVD** ディスクモードを選択。
- 26 **MENU** ディスクのメニュー開始。
- 27 **'enter'** さまざまなコマンドを実行。
- 28
- 29 前のチャプター/トラックへ、早戻しサーチ。
- 30 次のチャプター/トラックへ、早送りサーチ。
- 31 早戻しスキャン。
- 32 早送りスキャン。
- 33 **ZOOM** 画像を拡大。
- 34 **ANGLE** DVDのアングルを選択。
- 35 **KNEKT 機能** KNEKTシステムと併用。

UNIDISK 1.1 においては、グレイのキーは機能しません。

リモコンモード

リモコンのソースボタン (DVD、CD、TUNER、AUX) を押すと、選んだソースのモードに入ります。リモコンのボタン機能はソースによって変わるため、思ったように反応しないケースがあります。これは、リモコンと機器本体で異なるソースが選ばれているために起こるものです。操作がきかない場合には、リモコンのDVDボタンを押してください。

リン5103システムコントローラーと
5101 ラーニングリモコンをお使いの方へ

UNIDISK 1.1 を5103システムコントローラーに接続して、その両方を5101ラーニングリモコンで操作したい場合には、UNIDISK 1.1 (DVDソースではなく) 付属機器ソースとし、5101にUNIDISK 1.1の該当コマンドを教えるようにします。

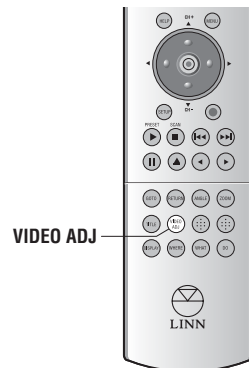
映像出力

UNIDISK 1.1 のセットアップにあたって、まず、本機器がご使用のディスプレイ装置に合った映像タイプを出力していることを確認してください。

確認の方法

- リモコンの「VIDEO ADJ」(調整) を押します。現在の出力映像タイプが前面パネルに表示されます。再度「VIDEO ADJ」を押すと、映像タイプが切り替わります。

数秒後に映像タイプの表示は消えます。



設定メニュー

設定メニューについて

オンスクリーンでの初期設定により、お使いのディスプレイ装置の画面フォーマット、音声設定などに合わせて UNIDISK 1.1 を構成することができます。この初期設定は、本機に接続する機器を本体に記憶させる重要な作業です。ぜひ時間をかけて正しい設定を行ってください。

設定メニューには4項目があります。

General Setup (一般設定)

本機器の音声と映像の設定一般。

Progressive Scan Setup (プログレッシブスキャン設定)

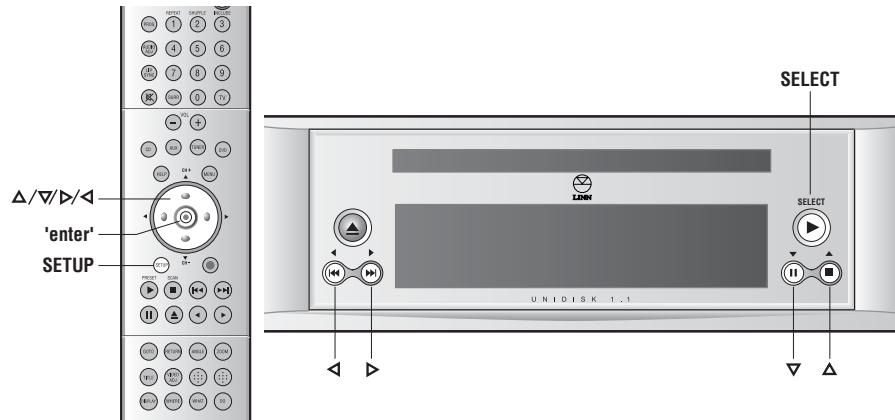
本機器のプログレッシブ出力を設定 (使用している場合)。

Audio Setup (音声設定)

本機器の音声出力を設定。

Preferences (お好み設定)

字幕や視聴制限など追加項目の設定 (ディスク再生中この設定はできません)。



設定メニューを呼び出す

ディスプレイ装置の電源を入れ、UNIDISK 1.1 の映像出力信号を表示します。

- リモコンの「SETUP」を押します。画面に「Setup Menu」(設定メニュー)のメインページが出ます。

注記

ディスクがDVD オーディオでない限り、ディスク再生中でも設定メニューへのアクセスは可能です。

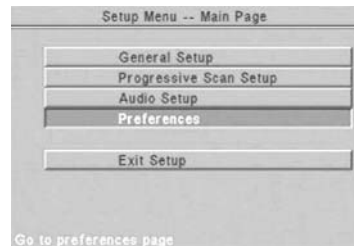
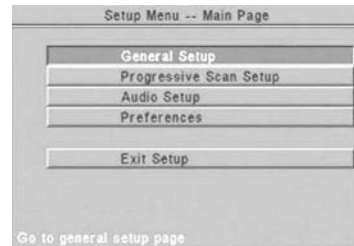
設定項目を選択決定する

- 前面パネルまたはリモコンの $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ キーでカーソルを移動します。
- リモコンの「enter」または前面パネルの「SELECT」を押して選択します。

例

DVD メニューの言語を変更するには、以下のように行います。

- 「SETUP MENU」(設定メニュー)の「MAIN PAGE」(メインページ)で、前面パネルあるいはリモコンの ∇ キーでカーソルを「Preferences」(お好み設定)へ移動します。



- 前面パネルの「enter」またはリモコンの「SELECT」を押します。「Preferences Page」(お好み設定ページ)画面が表示されます。

- ∇ キーで「Disc Menu」(ディスクメニュー)を選びます。言語一覧が表示されます。

- \rightarrow キーでカーソルを言語一覧へ移動します。

- ∇ キーでカーソルを設定したい言語に移動します。「enter」か「SELECT」を押します。

設定メニューから出る

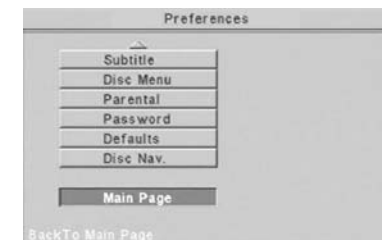
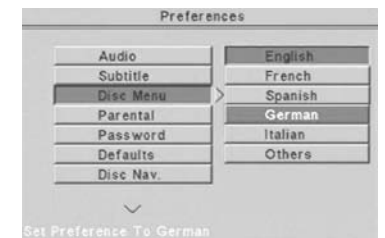
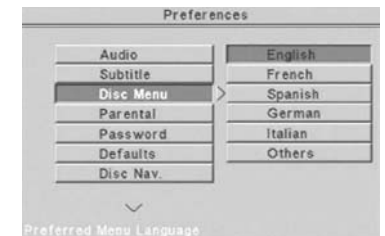
- リモコンの「SETUP」を押します。

あるいは

- 前面パネルまたはリモコンの ∇ キーでカーソルをサブメニュー項目の下にある「Main Page」(メインページ)へ移動します。

- 「enter」を押し、「Setup Menu」(セットアップメニュー)の「Main Page」(メインページ)へ戻ります。

- ∇ キーでカーソルを「Exit Setup」(セットアップメニューから出る)へ移動します。「enter」を押します。



設定メニューの項目によって、すぐに変更が反映されるものと、設定画面から出た後に変更が行われるものがあります。

General Setup (一般設定)

OSD Language

(on-screen display language = 画面表示言語)

デフォルト設定 : English (英語)

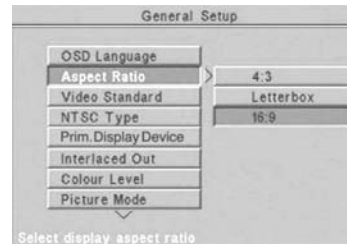
画面に表示される情報やメニューに使われる言語を選択します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

デフォルト設定 : 16:9

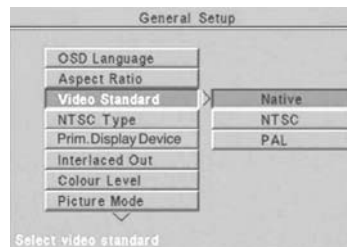
4:3、Letterbox (レターボックス)、16:9の中から、ご使用のディスプレイ装置に合わせて画面サイズを選びます。



Video Standard (映像規格)

デフォルト設定 : Native

お使いのディスプレイ装置が対応する映像信号規格を選びます。NTSCとPALの両方に対応する場合は「Native」(ネイティブ)に設定します。



注記

映像規格で「Native」(ネイティブ)を選びDVDを再生すると画面がちらつくことがあります。これは本機が映像信号を切り替える際生じるものです。

ご使用のディスプレイ装置が単一の規格にしか対応しない場合、他の規格で録画されたDVDを本機で再生できないことがあります。

NTSC Type (NTSC タイプ)

NTSC 信号規格が標準となっている各国用。

デフォルト設定 : 北アメリカ

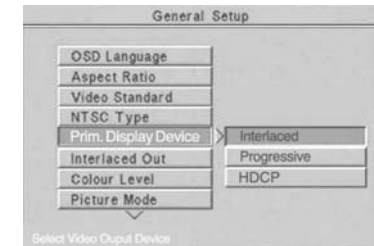
米国、カナダでは、「North American」にセット。
米国、カナダ以外では、「World」にセット。



Primary Display Device (主ディスプレイ装置)

デフォルト設定 : Interlaced

UNIDISK 1.1 はプログレッシブ映像信号処理に伴う映像遅延を除去し、映像と音声と同時に出力させることができます。ご使用のAVシステムの主ディスプレイ装置に合わせて、このオプションを設定します。



記 :

UNIDISK 1.1 のHDCPを利用する場合は、HDCP対応のディスプレイが必要です。HDCP非対応のDVI入力端子では映像出力(再生)をいたしませんのでお気をつけください。

Interlaced Out (インターレース出力)

デフォルト設定 : YPrPb

ディスプレイ装置がRGB入力に対応しているなら、本機のSCART出力と「Interlaced Out」を「RGB」に設定する必要があります。この場合、「YPrPb」出力はありません。

ディスプレイ装置がYPrPb入力に対応しているなら、本機SCARTあるいはYPrPbの出力を使うことができます。この場合は「YPrPb」に設定します。



Colour Level (カラーレベル)

本機のYPrPbインターレース出力が使われているときのみ、このオプションを使います。

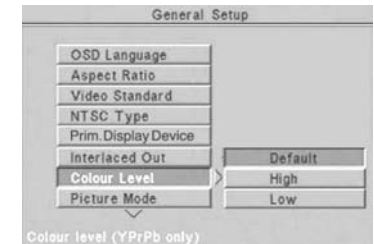
デフォルト設定 : Auto

カラーレベルは、ディスプレイ装置に送信するカラー情報の量を調整するオプションです。

再生するディスクの映像規格に応じて本機に自動的に決定させるのであれば、「Auto」に設定してください。

ディスプレイ装置が1V peak-to-peak入力に対応する場合には、「High」に設定します。

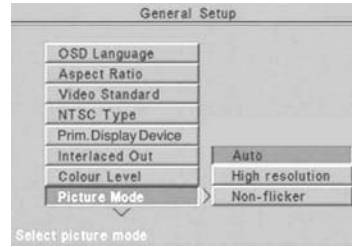
ディスプレイ装置が0.7V peak-to-peak入力に対応する場合には、「Low」に設定します。



Picture Mode (ピクチャーモード)


デフォルト設定 : Auto

映画フィルムのショットをデジタルフォーマットに切り替えてDVDに保存するプロセスが原因で、ディスプレイ装置にちらつきが出ることがあります。これを防ぐために、本機では「High resolution (高解像)」と「Non-flicker (ちらつき防止)」の2方策を採ることができます。各DVDビデオによってどちらが適当であるか異なるため、ディスクごとに最適な方法を自動的に判断する「Auto」設定をお使いになることを推奨いたします。



Angle Mark (アングルマーク)

デフォルト設定 : Off

「On」にすれば、DVD再生中にマルチアングル収録部分がくると、画面の  シンボルで知らせます。となりにはカメラアングル数が表示されます。



Closed Captions (クローズドキャプション=CC)

デフォルト設定 : Off

「On」にすると、DVDに備えられたクローズドキャプション(視聴覚障害者用など)が表示されます。



Screen Saver (スクリーンセーバー)

デフォルト設定 : On

静止画を長い時間表示し続けているとスクリーンに焼き付いてしまう恐れがあります。この設定をオンにすると3分後にスクリーンセーバー(ブランク画面)に切り替わります。スクリーンセーバーを解除するには「enter」を押します。



Progressive Scan Setup (プログレッシブスキャン設定)

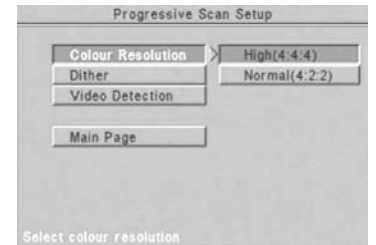
本機のプログレッシブ出力端子が使われているときだけ使用します。

Colour Resolution (カラー解像度)

デフォルト設定 : High (4:4:4)

「High (4:4:4)」に設定すると、映像信号を処理してカラー状態を改善します。

「Normal (4:2:2)」に設定すれば、処理は行われません。

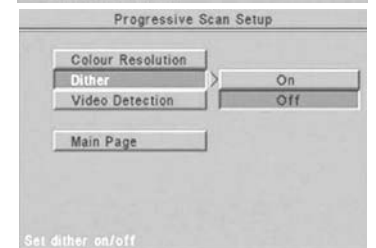


Dither (ディザ)

デフォルト設定 : Off

カラー深度に限界があるLCDパネルなどのディスプレイ機器では、色合いが自然な階調を成さずに色の帯になって現れることがあります。

「On」に設定すると、この現象を軽減します。



Video Detection (映像検出)

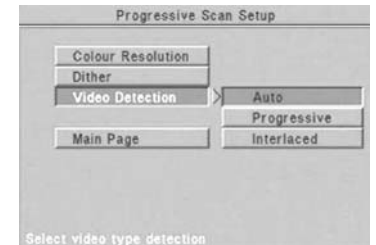
デフォルト設定 : Auto

元の映像ソースの収録方法に合わせて設定します。再生するディスクに収められた情報をもとに自動的に選択させたい場合は、「Auto」に設定してください。

本機は「Auto」に設定したときに最適な状態で作動します。画像が粗くなった場合を除いては「Auto」のままにしておくようにします。

ほとんどの映画のように映像ソースがフィルムに収録されている場合は「Progressive」に設定します。

ほとんどのTV番組のように映像ソースがビデオテープに収録されている場合は「Interlaced」とします。



注記

「Auto」に設定したときに、画像がちらつくことがあります。そうした場合には、他の設定のいずれかで、画像の状態がよいほうを選んでください。

Audio Setup (音声設定)

SPDIF Out (SPDIF 出力) (デジタル出力のみ)

デフォルト設定 : Raw

本機のデジタル音声出力をご使用にならない場合は「Off」に設定します。

本機のデジタル出力のいずれかがリンシステムコントローラー、その他外部音声デコーダー、その他の機器に接続されていたら、「Raw」とします。

外部デジタルソース (CD-R/MD/DAT など) への録音を行う場合は、「LtRt PCM」に設定します。



LPCM Out (LPCM 出力) (デジタル出力のみ)

デフォルト設定 : LPCM 96K

本機のデジタル出力のいずれかがリンシステムコントローラーやその他サンプリングレート 96kHz に対応する機器に接続されていたら、「LPCM 96K」とします。

外部機器がサンプリングレート 96kHz に対応しない場合は、「LPCM 48K」にしてください。



注記

「LPCM 96K」に設定しても 48kHz しか出力しないディスクもあります。

記 :

SACD と DVD-Audio のオーディオ再生はアナログ音声出力のみです。これらのフォーマットのデジタル出力はありません。

Channel Setup (チャンネル設定) (アナログ出力のみ)

アナログ出力専用のオプションです。

デフォルト設定 : 5.1 channel

本機を 2チャンネルシステムで使う場合に「2 channel」に設定します。(そのようなシステムでは、SACD や DVD オーディオの 5.1 チャンネルマテリアルは 2チャンネルにダウンミックスされます。)

本機がリンシステムコントローラーに接続されている場合、その他 2チャンネル以上の他のシステムに使われている場合は、「5.1 channel」とします。

記 :

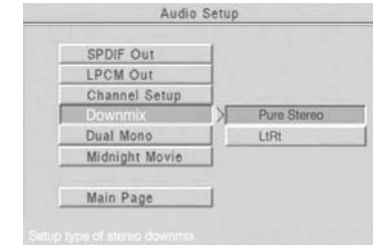
上記セッティングの内容にかかわらず、Dolby Surround と DTS フォーマットディスクのアナログ再生出力は、ミックスダウンされた 2チャンネル再生のみとなっています。



Downmix (ダウンミックス : アナログ出力部)

デフォルト設定 : Pure Stereo

Dolby Pro Logic を利用される場合は LtRt、それ以外では Pure Stereo を選択します。



Dual Mono (デュアルモノ) (デジタル/アナログ出力)

左右のチャンネルに異なる音声トラックを備えた DVD ビデオ用のオプションです。

デフォルト設定 : Stereo

左チャンネルだけを聴くとき「L-mono」とします。

右チャンネルだけを聴くとき「R-mono」とします。

分離した左右のチャンネルを合わせて聴くとき「Mix-mono」とします。

通常は「Stereo」に設定します (ほとんどのディスクに適用)



Midnight Movie

(深夜映画モード) (デジタル/アナログ出力)

デフォルト設定 : Off

DVD ビデオでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とす機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。信号を圧縮して音量を落としたいときは「On」に設定します。



Preferences (お好み設定)

Audio (音声)*

デフォルト設定 : English (英語)

聞きたい言語を設定します。

表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを「Others」へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukをご覧ください。

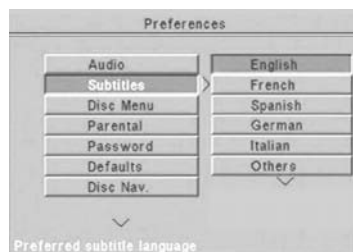


Subtitles (字幕)*

デフォルト設定 : English (英語)

お好みの字幕言語を設定します。この項目が「Off」設定でもDVDによっては字幕が表示されることがあります。そのときは「TITLE」を長めに押して字幕を消してください。

表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを「Others」へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukをご覧ください。



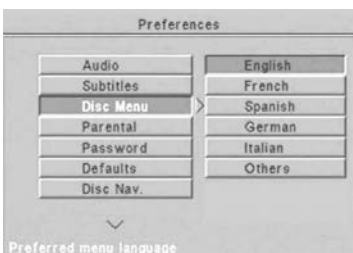
* 選んだ言語に関わらず、ご覧になっているDVDに収録された言語が再生されます。

Disc Menu (ディスクメニュー)*

デフォルト設定 : English (英語)

お好みのDVDメニュー言語を設定します。この項目は複数のディスクメニュー言語を収録したDVDの場合にのみ有効です。

表示されている以外の言語を選ぶときはカーソルを「Others」へ移動し、「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4ケタのコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukをご覧ください。



* 選んだ言語に関わらず、ご覧になっているDVDに収録された言語が再生されます。

Parental (視聴制限)

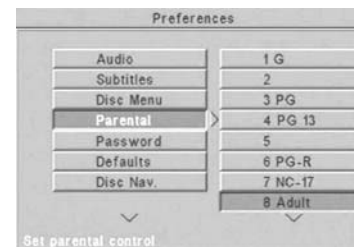
デフォルト設定 : No Parental (制限なし)

このメニューは、特定のDVDを入れたとき鑑賞できないように年齢制限を行う設定をします。**

視聴制限を設定・変更する

- カーソルを年齢制限レベルに移動し、「enter」を押します。暗証番号の証明画面が表示されます。
- リモコンの数字キーで4ケタの暗証番号を入力します (工場出荷時は3308です)。
- 指示に従って「enter」を押します。
- 設定画面から出ると、変更が有効になります。

**DVDに正しい情報が入っていないと、視聴制限は機能しません。



Password (パスワード)

デフォルト設定 : 3308

4ケタの暗証番号を設定・変更する

- カーソルを「Change」に移動し、「enter」を押すと、暗証番号変更画面が出ます。
- リモコンの数字キーでこれまでの4ケタの暗証番号を入力します。
- 新しい暗証番号を入力し、さらにそれを確認します。
- 指示に従って「enter」を押します。これで新しい暗証番号が有効になります。



Defaults (デフォルト)

設定メニューを工場出荷時の状態に戻すときは、「Reset」にカーソルを移動して「enter」を押します。

Disc Nav. (ディスクナビゲーション)

デフォルト設定 : Menu on

「ディスクの再生」の「その他のファイル形式」をご覧ください。

ディスクの再生

ここではUNIDISK 1.1でディスクを再生する方法とさまざまな機能を解説します。


はじめに*

1. ディスプレイ装置の電源を入れ、本機の映像出力画像を出します。
2. ディスプレイ装置の音声をミュート (消音) にします。
3. リモコンの**DVD**を押してDisc (ディスク) モードにします。リモコンで本機を操作するにはDiscモードになっていることが必要です。

*オーディオディスクを聞く場合、上記のステップ1・2は必要ありません。















注記

ディスク形式の動きに違いがあるため、ディスクによっては、ここで解説する機能が使えない場合もあります。

DVDをご覧になっていときに前面パネルやリモコンを使うコマンドを入力すると、画面に  マークが出る場合があります。これは、その時点ではコマンド実行が不可能であること、あるいは再生中のタイトル/チャプターが終わってから入力してください、ということの意味します。

前面パネルのシンボル

前面パネルに表示されるシンボルの意味

-  再生
-  一時停止
-  停止
-  次のチャプター/トラックへスキップする
-  前のチャプター/トラックへスキップする
-  早送り (サーチ)
-  早戻し (逆サーチ)
-  ゆっくりと早送り (スローサーチ)
-  ゆっくりと早戻し (スロー逆サーチ)
-  スキャン再生
-  スキャン逆再生
-  スロースキャン再生
-  スロースキャン逆再生
-  繰り返し (リピート)

ディスク情報の表示

前面パネルおよびディスプレイ装置の画面には、挿入されているディスク情報が表示されます。

リモコンの「**DISPLAY**」を押すたびに、次の順序で情報が表示されます。

チャプター/トラックの経過時間
チャプター/トラックの残り時間
タイトル/ディスクの経過時間
タイトル/ディスクの残り時間
トラック名 (SACDのみ)

時間表示を消すには、表示されなくなるまでリモコンの「**DISPLAY**」を繰り返し押します。




追加的なディスク情報が前面パネルの時間表示の左右に表示されます。

DVD ビデオ DVD オーディオ	
時間表示の左	再生中のタイトル番号
時間表示の右	再生中のチャプター番号
CD SACD	
時間表示の左	全体のトラック数
時間表示の右	現在のトラック番号

SACD

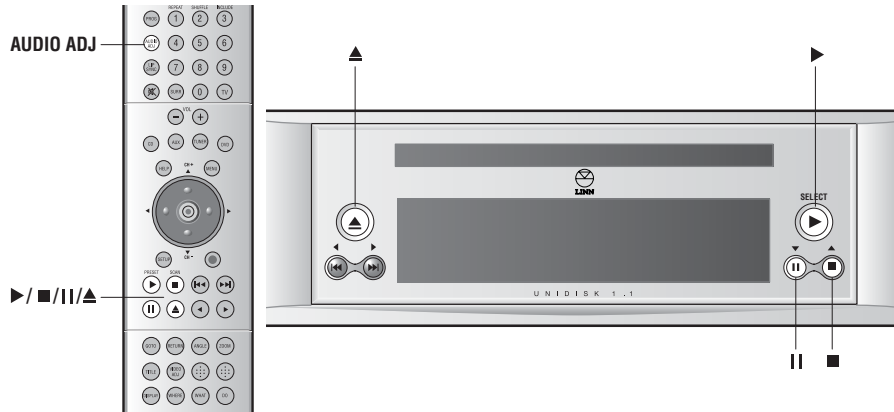
SACDの場合、ディスプレイ装置にトラック情報が表示されます。情報量はディスクにより異なります。

本項に関連するアイコン

アイコン	意味
	DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW のための機能です。
	CD、SACD、CD-R、CD-RW のための機能です。
	ビデオ CD およびスーパー VCD のための機能です。

特定のディスク形式に該当する特色や指示が記載されています。

基本操作



リモコンがDisc (ディスク) モードになっているかを確認します (詳細はこの項の「はじめに」をご参照ください)。

ディスク再生

- ▲ を押します。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
- ▶ を押します。
- ディスクトレイが閉まり、自動的に再生が始まります。

注記

ディスクトレイを軽く押し閉めることもできます。そこでDVDビデオ、VCD、DVDオーディオによっては自動的に再生を始めるものもありますが、そうでないものもあります。

DVDビデオ、DVDオーディオ、VCD、SVCDの場合、ディスプレイ装置の画面にメニューが表示されることもあります (本項の「DVDのメニューを使う」をご参照ください)。

ディスク再生面にキズをつけないように気をつけてください。ディスクにキズがあると正しく再生できないことがあります。特にDVDの場合は気をつけてください。

ディスクの再生が始まるまで15秒ほどかかることがあります。

ディスクの一時停止

- || を押します。
- ▶ を押すと、再生が始まります。

再生を停止する

- ■ を押します。*

ディスクを取り出す

- ▲ を押します。
- ディスクを取り出し、▲ を押すか、ディスクトレイを軽く押します。

重要

本体内部にホコリが入りますので、ディスクトレイは開けたままにしないでください。

*PBCがオンになっていれば、ビデオCDやスーパーVCDの再生は停止しません (本項の「ビデオCD/スーパーVCDについて」をご参照ください)。

SACDの再生

SACDは最大で異なる音声形式の3つのエリアを収録することができます。音声品質が高い順にSACDマルチ (高品質音声5.1チャンネル)、SACDステレオ (高品質音声2チャンネル)、CDステレオ (標準CD音声2チャンネル) です。

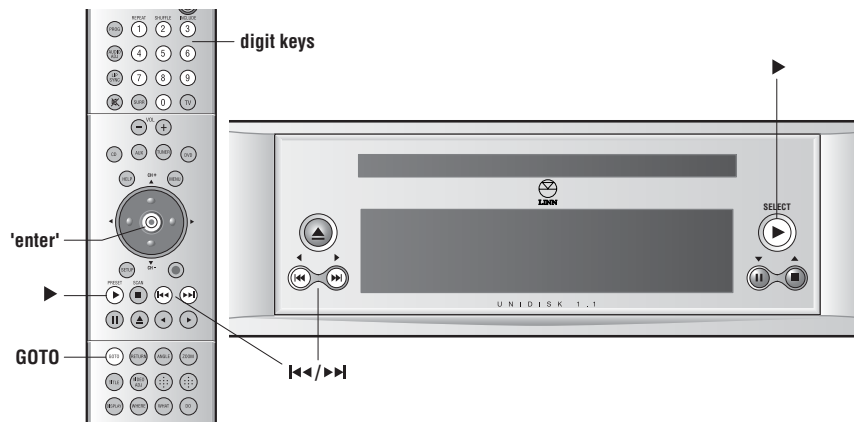
本機にSACDを入れると、前回SACDを再生したときに選択されたフォーマットがデフォルトとして使われます。再生するディスクにそのエリアが存在しないと、その他の最適フォーマットが選ばれます。

可能な中から聞きたいフォーマットをご自分で選択することができます。

方法

- ディスク再生中なら、リモコンの■を押します。
- リモコンの「AUDIO ADJ」を繰り返し押し、前面パネルに求めるフォーマットを表示させます。
- ▶ を押します。前面パネルの▶シンボルが点滅し、コマンドの受け入れを知らせます。求めたフォーマットを本機が選択すると、再生がスタートします。

ディスクのタイトル/チャプター/トラックの頭出し



ダイレクトタイトル/チャプター選択



メニューページ表示中にディスクのタイトル/チャプターにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「GOTO」を押します。ディスプレイ画面で、現在のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「enter」を押します。

ディスク再生中、別タイトルにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「GOTO」を押します。ディスプレイ画面で、再生中のタイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル番号を入力します。
- 「enter」を押します。

次/前のチャプター/トラックの選択



ディスクのチャプター/トラックの前後にスキップする

- 前にスキップするには、前面パネルかリモコンの **▶▶** を繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには、**◀◀** を繰り返し押します。

ダイレクトチャプター/トラック選択



チャプター/トラック再生中、DVDの特定チャプターにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「GOTO」を押します。ディスプレイ画面で、再生中のチャプター/タイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のチャプター/タイトル番号を入力します。
- 「enter」を押します。

ダイレクトトラック選択



特定のトラックを選ぶ

- リモコンの数字キーでトラック番号を入力します。
- 「enter」を押すか、自動的にトラックが選ばれるまで数秒待ちます。

注記

プログラム (Include program) モードが選択されていてトラックがプログラムに含まれていない場合には、トラック選択はできません。

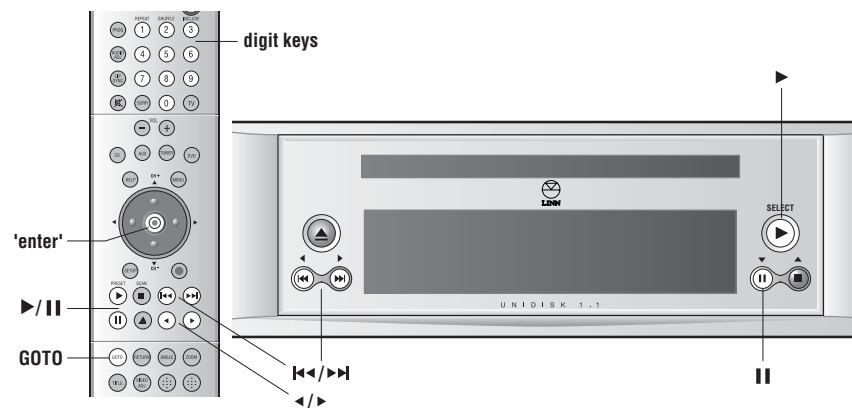
チャプター/トラックの繰り返し再生



再生中のチャプター/トラックの頭に戻って再生する

- 前面パネルまたはリモコンの ▶ を押します。
トラック/チャプターの頭から再生が始まります。

ディスクの特定ポイントを探す



早送り/早戻し (サーチ)



ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでサーチする

- 早送りするには前面パネルかリモコンの ▶▶ を押し続けます。
- 早戻しするには ◀◀ を押し続けます。

スキャン再生/逆再生



ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでスキャンする

- 2倍速再生するにはリモコンの ▶ を押します。
- ▶ を押すごとに4倍速再生、6倍速再生、8倍速再生となります。
- ▶ を押すと通常再生に戻ります。
- 2倍速逆再生するには ◀ を押します。
- ◀ を押すごとに4倍速、6倍速、8倍速逆再生となります。
- ▶ を押すと通常逆再生に戻ります。

スロー再生/逆再生 (スローサーチ)



ディスク再生中にコマ送りで再生/逆再生する

- 前面パネルかリモコンの **II** を押します。
- スロー再生するには **▶▶** を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- スロー逆再生するには **◀◀** を繰り返し押すか、あるいは押し続けます。
- **▶** を押すと通常再生に戻ります。

スロースキャン再生/逆再生



ディスク再生中にスロー再生/逆再生でスキャンする

- リモコンの **II** を押します。
 - 1/2 倍速再生するには **▶** を押します。
- ▶ を押すごとに 1/4 倍速再生、1/8 倍速再生、1/16 倍速再生になります。
- **▶** を押すと通常再生に戻ります。
 - 1/2 倍速逆再生するには **◀** を押します。
- ◀ を押すごとに 1/4 倍速逆再生、1/8 倍速逆再生、1/16 倍速逆再生になります。
- **▶** を押すと通常再生になります。

ダイレクトタイム選択



チャプター/タイトルを再生中、DVDの特定ポイントにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「**GOTO**」を押します。画面に再生中のチャプター番号がハイライト表示されます。
- もう一度「**GOTO**」を押します。
- 数字キーで見たい時間を入力します。時間は6ケタで入力しなければなりません。

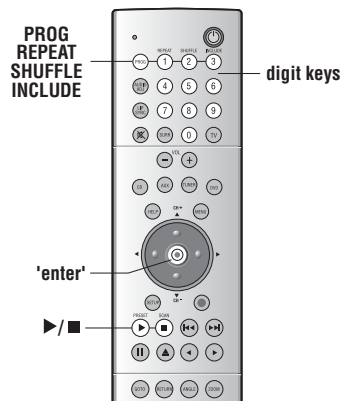
例

1時間15分32秒の個所へ飛ぶには0、1、1、5、3、2と押します。

画面に入力した時間が表示されます。

- 「**enter**」を押します。

プログラムモードで再生する



ディスクの繰り返し再生



DVDやCD全体を繰り返し再生する

- ディスク再生中に、リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」(数字キーの1)を押し、抑え続けます。

前面パネルに「ALL」と表示されます。

- 「REPEAT」を放します。

ディスク/タイトルが終わると、自動的に再生を繰り返します。

ディスク繰り返しモードをキャンセルする

- ディスク再生中に、「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」(数字キーの1)を押し、抑え続けます。

前面パネルの「ALL」の表示が消えます。

- 「REPEAT」を放します。

セクションの繰り返し再生



ディスクの指定セクションを繰り返し再生する

- 繰り返し再生したい部分の最初で、リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」(数字キーの1)を短く押します。前面パネルに「A」と表示されます。
- 繰り返ししたい部分の最後まで再生を続けます。
- 「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」を短く押します。前面パネルに「B」と表示されます。もう一度「REPEAT」を押すと、指定したセクションが自動的に繰り返し再生されます。

セクション繰り返し再生モードをキャンセルし、通常再生を続ける

- 「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」を押します。

シャッフルプログラム



この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生順にトラックをシャッフルする

- リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」(数字キーの2)を押します。

前面パネルに「SHF」と表示されます。

- ▶ を押すと再生が始まります。

シャッフルモードをキャンセルする

- ■ を押します。
- 「PROG」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」を押します。

プログラム再生



ディスク中で再生したいチャプター/トラックだけを選ぶプログラムモードです。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生するトラックを選ぶ

1. リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「INCLUDE」(数字キーの3)を押しします。

前面パネルに「P01:00」「INC」と表示されます。

2. 数字キーで指定するトラック番号を入力します。
3. 「enter」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択保存します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

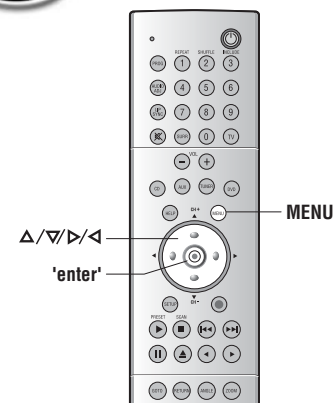
保存したプログラムやプログラム再生モードをキャンセルする

- リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「INCLUDE」を押しします。

注記

最大99トラックのプログラム再生ができます。

DVD メニューを使う

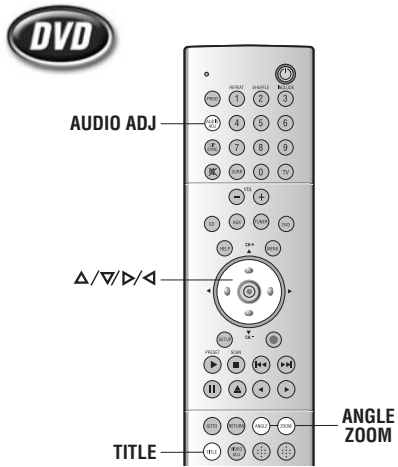


ほとんどのDVDビデオ、DVDオーディオには、再生したい部分を選択したり、機能を変更したりできるメニューがあります。

メニューを見る

- リモコンの「MENU」を押しします。ディスプレイ装置の画面にメニューが出ます。
- 見たいタイトルや変更したいタイトルを ▲/▼/◀/▶ で選びます。
- 「enter」を押しします。

DVD 再生のその他オプション



言語とオーディオストリームの選択

DVD ビデオの音声言語やオーディオストリームを選ぶ

- リモコンの「AUDIO ADJ」を繰り返し押します。

字幕

表示可能な字幕の言語を選ぶ

- リモコンの「TITLE」を繰り返し押します。

アングル選択

DVD の中には、同一シーンを複数のカメラ (視点) で収めたマルチアングル機能を持つディスクがあります。

アングル選択を行う

- リモコンの「ANGLE」を押します。

別アングルが選択されます。

さらに「ANGLE」を押すと次のアングルが選べます。

ズームとパン機能



ズーム機能により、映像をさまざまに拡大して見ることができます。
パン機能は、拡大した映像内で左右上下に移動することを可能にします。

ディスクを再生中あるいは一時停止中にズーム機能を使う

- リモコンの「ZOOM」を押します。

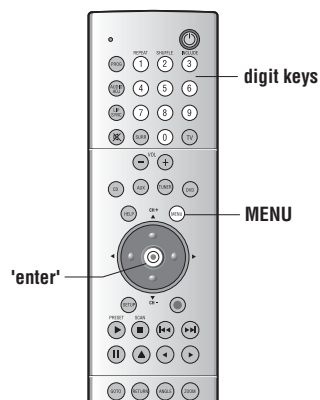
映像が 1.5 倍の拡大映像に変わり、画面に「ZOOM 1.5」と表示されます。

「ZOOM」を押すごとに 2 倍、3 倍のズーム映像になります。
もう一度「ZOOM」を押すと通常再生に戻ります。

拡大した映像をパンする

- リモコンの $\Delta/\nabla/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を繰り返し押すか、あるいは抑え続けます。

ビデオ CD とスーパー VCD について



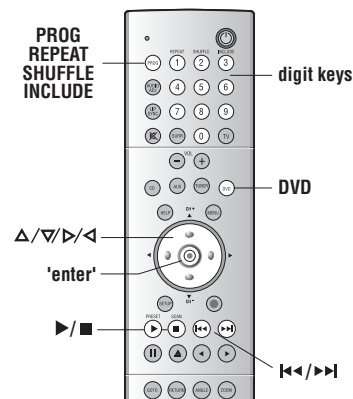
ビデオ CD、スーパー VCD には PBC (プレイバックコントロール) 機能を備えているものがあり、これによって再生機能の操作性が高まります。PBC は好みによりオン/オフいずれにしてもできます。PBC がオンであれば、ディスクを一時停止したり、トラックの前後にスキップしたりすることができます。

またスーパー VCD では、ディスク内容を示すメニューが画面に現れます。特定のトラックを再生するには、該当する数字キーを押し、「enter」を押します。PBC がオフになっていれば、このような操作はできないことがあります。

PBC のオン/オフ

- リモコンの「MENU」を押します。

その他のファイル形式



データディスクに収録された次のようなファイルも再生することができます。
MP3、JPEG、MPEG2

ファイルの再生

- ディスプレイ装置のスイッチを入れ、本機器の映像出力信号に合わせます。
- リモコンが Disc モードになっていなければ、「DVD」を押してください。
- データディスクを本機に入れます。数秒後、画面に「Disc Navigation」画面が出て、ディスクのフォルダ構成を表示します。

注記

ディスク内容を見るには、設定メニュー「Preferences」(お好み設定)の「Disc Nav」が「Menu on」に設定されている必要があります(「設定メニュー」の項をご参照ください)。

次の手順に従います。

- セクション/フォルダ/アイテムの間を移動するには、リモコンの $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ を使います。
- フォルダの内容を見るには、フォルダにカーソルを合わせて「enter」を押します。
- アイテムを再生するには、アイテムにカーソルを合わせて「enter」を押します。
- アイテム中で前後にスキップするときは、 \gg/\ll を押します。
- MP3 や MPEG 2 ファイル再生中にサーチ/逆サーチを行うときは、 \gg/\ll を押し続けます。
- 再生を停止するには \blacksquare を押します。

注記

設定メニューの「Disc Nav」が「Menu Off」に設定されている場合、「enter」を押すと、本機器に挿入されたディスクは、最初のフォルダの最初のアイテムから再生し始めます。▶▶/◀◀/■ キーは上記と同様に機能します。

ファイル繰り返し再生モード

MP3 ファイルを繰り返し再生する

- ファイル再生中にリモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」(数字キーの1)を押します。

前面パネルに「ONE」と表示が出ます。

ファイル繰り返し再生モードをキャンセルする

- 「PROG」を押し、2秒以内に「REPEAT」を押します。

シャッフルモード

フォルダ内のファイル再生順序をシャッフルする

- 最初のファイル再生中に、リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」(数字キーの2)を押します。

前面パネルに「SHF」と表示されます。

シャッフルモードをキャンセルする

- 「PROG」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」を押します。

プログラム再生

フォルダ内で指定したファイルだけを再生するモードです。

再生するトラックを選ぶ

1. リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「INCLUDE」(数字キーの3)を押します。

前面パネルに「P01:00」「INC」と表示されます。

2. 数字キーで指定するトラック番号を入力します。
3. 「enter」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

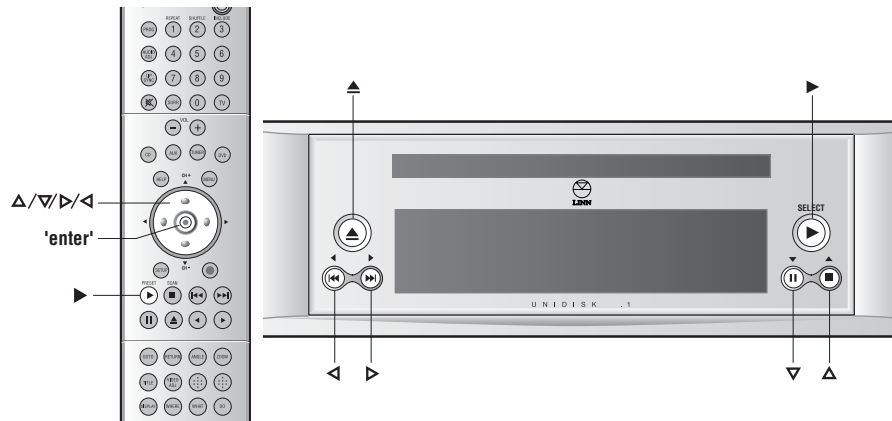
保存したプログラムやプログラム再生モードをキャンセルする

- リモコンの「PROG」を押し、2秒以内に「INCLUDE」を押します。

ユーザーオプション

ここでは、ご使用になる方の要望に合わせて UNIDISK 1.1 の機能を設定する方法を解説します。

ユーザーオプション設定の変更



ユーザーオプション設定モードに入る

- 本機にディスクが入っていれば取り出します。ディスクトレイを閉じて、前面パネルに「NO DISC」の表示が出るのを待ちます。
- 前面パネルの ▲ を押し続けて、「User Options」の表示を出します。

ユーザーオプション設定を変える

- 前面パネルかリモコンの ▲ か ▼ を繰り返し押すか、押し続けるかして、変更するユーザーオプションを選びます。
- ▶ か ◀ を繰り返し押すか、押し続けるかして、設定を変更します。

ユーザーオプションを工場出荷時設定値に戻す

- 変更するユーザーオプションを選びます。
- リモコンの「enter」を押します。

設定を保存して終了する

- 前面パネルかリモコンの ▶ を押します。

ユーザーオプション一覧

可能なユーザーオプションとその設定を以下に簡単にまとめました。工場出荷時のデフォルト設定は大文字で記載されています。本体ディスプレイには (★) で表示。

オプション	内容	設定
Display brightness	前面ディスプレイの明るさを可変調整します。AUTO 設定では、室内の明るさに基づいて自動的に輝度が決まります (周囲が明るいほどディスプレイも明るくなります)。	AUTO 2% ~ 100% (非直線)
Sleep display delay	操作後、ディスプレイがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。	OFF 0m 10s ~ 5m 00s 10 秒 ~ 5 分 (10 秒ステップ可変)
Front panel IR command	ACCEPTED : 赤外線レシーバーが通常通りの受信を動作します。	ACCEPTED (受信) IGNORED (無反応)
Pass IR to REMOTE OUT	ENABLED : 赤外線レシーバーが受信したコマンドを REMOTE OUT 端子より転送します。赤外線コマンドが非作動の設定でも機能します。	ENABLED (動作) DISABLED (停止)
Pass REMOTE IN to OUT	ENABLED : REMOTE IN 端子で受信した RC5 コマンドを REMOTE OUT 端子に転送します。	ENABLED (動作) DISABLED (停止)
RS232 baudrate	Baudrate を設定します。	9600 4800 ~ 230400 (8 種類の設定)
RS232 events	ENABLED : 本機の内部ステータス情報を RS232 データ対応の外部機器に送信します	ENABLED (動作) DISABLED (停止)
RS232 startup message	ENABLED : 電源投入時、RS232 開始メッセージを表示します。	ENABLED (動作) DISABLED (停止)
CD commands	本機に外部 CD プレイヤーが接続されており Disc モードでないときに、CD リモコンからのコマンドを無効にしたい場合 IGNORED とします。	ACCEPTED (受信) IGNORED (無反応)
Scroll SACD text	ONCE : SACD のトラック情報がディスプレイに 1 度だけ表示します。 LOOP : SACD のトラック情報がディスプレイに繰り返し表示します。 NO : SACD のトラック情報をディスプレイに表示しない。	ONCE LOOP NO

技術データ

電気系	
電源	100-230 VAC、50-60 Hz
消費電力	約 40W
物理系	
重量	4.8 kg
寸法	380 (W) x 360 (D) x 80 (H) mm

信号インターフェイス				
インターレース方式映像				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
コンポーネント	SCART	RGB + コンポジット : 1Vp-p Y : 1Vp-p	75 Ω	SCART 音声なし
	BNC (x3)	Pr : 1Vp-p (700mVp-p に切り替え可)	75 Ω	-
		Pb : 1Vp-p (700mVp-p に切り替え可)		
コンポジット	RCA (x2)	1Vp-p	75 Ω	-
S 映像	4 ピンミニ DIN (x2)	Y (輝度) : 1Vp-p	75 Ω	-
		C (クロミナンス) : 700mVp-p	75 Ω	-
プログレッシブスキャン映像				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
コンポーネント	BNC (x3)	Y : 1Vp-p	75 Ω	-
		Pr : 1Vp-p (700mVp-p に切り替え可)		
		Pb : 1Vp-p (700mVp-p に切り替え可)		

信号インターフェイス				
アナログ音声				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
アンバランス	RCA (x8)	2 Vrms	300 Ω	フロント L (A)、 L (B)、R (A)、 R (B) リア L & R センター & サブ
バランス	XLR male (x2)	4 Vrms	600 Ω	フロント L & R R (pin1 gnd、 pin 2 hot、 pin 3 cold)
デジタル音声				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
SPDIF	BNC	500mVp-p	75 Ω	電気
	TOSLINK	-	-	オプティカル
データ & コントロール				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
RS232	RJ11 (x2)	-	-	
リモート 入力・出力	RCA (x2)	4 mA	-	KNEKT 使用時のみ

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応いたします。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Floors Road
Waterfoot
Glasgow G76 OEP
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田 6-1-4
神田ノーザンビル 4F

TEL: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Website: www.linn.jp

